

# 日常生活の指導 学習指導案

あさひ子学級 2組 4名 指導者 小川 誠

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 「子どもと進める授業」は、子どもが主体的に授業に参加したり、自信をもったりすることに有効であったか。
- 子ども一人一人が活動の見通しをもつことができる内容であったか。

## 1 題 材 進んで楽しく活動しよう

### 2 題材について

#### (1) 題材の価値

本学級においては、1校時に「日常生活の指導」の時間を带状に設定し、朝の会を中核に据え、下記のような様々な指導を展開している。

本題材は、子どもが朝の会をはじめとする様々な活動や役割を行う中で、学級の一員として大切な役割を果たすことから効力感を感じたり、活動における自分の成長や上達から成就感や満足感を得たりするという点で一日のスタートの1校時に設定できる格好の材料といえる。また、毎日、一定時間にほぼ同じような活動を繰り返し行うので、子どもは自分の課題をより理解しやすくなり、その課題に取り組むことにより様々な力を獲得していくことができる。

例えば、子どもは、日にち、天気や毎日黒板に書かれた教師からのメッセージ（モーニングメッセージ）を読む活動を行っている。次に、大型カレンダーで昨日までの行事を振り返ったり、その日や数日後に控えている活動に見通しをもったりすることができる。カレンダー学習では「きのう」「きょう」「あした」「あさって」のカードを貼ることで、子どもは時系列的な感覚を身に付けたり、日にちの用語を理解したりすることができる。他にも、挨拶の仕方や言葉づかいを身に付けること、集団での決まりを守ること、当番活動における自分の役割を果たすこと、身辺処理ができるようになることなど、様々な力を身に付けていくことができる。そして、子どもはみんなでいきいきと楽しく活動することにより、主体的に活動し、共に学び合い関わり合う中で、基本的生活習慣の定着を図り、豊かに生きる力を育てていくことにもつながるものと考えられる。さらに、集中タイムでは、曜日によって決めた個に応じた学習課題に取り組むことによって、主体的に取り組むだけでなく、学習への集中力を高めるためにも有効な題材である。

#### (2) 子どもの実態

児童（学年）	性別	主 な 課 題
A（1年）	男	○ 簡単な文を正しく読み、正しく理解できる。 ○ 相手の話を聞くことができる。
B（2年）	男	○ 簡単な文を正しく読み、正しく理解できる。 ○ 相手の話を落ち着いて最後まで聞くことができる。
C（4年）	女	○ 席に座って集中して、自分の課題に取り組むことができる。 ○ 相手の話を落ち着いて最後まで聞くことができる。
D（6年）	女	○ 見通しをもって、当番活動を最後までやり遂げることができる。 ○ 相手の話を最後まで聞くことができる。

#### (3) 指導に当たって

子どもが各自の課題を解決できるように、繰り返しの活動を設定すると共に、称賛を十分に行うようにする。また、繰り返しの活動に当たっては、子ども自身が自分のめざす姿を具体的に分かることができるようにすると共に、活動に広がりや深まりをもてるように活動内容を徐々に変えるようにする。

### 3 年間目標

- (1) 楽しい雰囲気の中で活動することにより、学級の一員としての役割を果たす喜びをもつとともに、今日一日やこれからの生活に楽しみや見通しをもつことができるようにする。
- (2) 当番活動の役割を決めたり、与えた役割を進んで果たしたり、活動への取組の充実を図ったりすることができるようにする。
- (3) 場面に応じた挨拶や他者とのやりとりができるようにする。
- (4) 文字・文章・数・音楽に親しみ、関心をもつことができるようにする。
- (5) 時間や時刻が分かり、「昨日」「今日」「明日」などの時を表す言葉が分かり、時系列的な感覚を身に付けることができるようにする。
- (6) 話す、聞く、読む、書くなどの学習の基礎を身に付けることができるようにする。

### 4 指導の実際

[ ] 子どもの意識     指導の手立て    ※評価

時間	形態	主な学習活動と指導の手立て・評価	
20	みんな ひとりで	<p>1 朝の会をする。</p> <p>(1) 朝の挨拶をする。</p> <p>(2) 健康観察をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気よくあいさつをするぞ。</li> <li>・友達は大きな声だな。私も大きな声であいさつをするぞ。</li> </ul>	<p>名前を呼ばれたらはっきりと返事ができるように言葉掛けをする。</p> <p>※ よい姿勢で挨拶をしたり、言葉のやりとりをしたりできる。</p> <p>笑顔と大きな声で歌うことができるように、教師自らが表情豊かに大きな声で歌う。</p>
	みんな	<p>(3) 今月の歌を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声で歌を歌うぞ。</li> <li>・笑顔で歌うと楽しいな。</li> </ul>	<p>※ 笑顔と大きな声で歌うことができる。</p> <p>子どもが話し合って決めた当番活動を進めることができるように、写真と文字で活動を表したカードを用いる。</p>
25	一人で	<p>2 今日の当番活動を話し合い、決まった当番活動に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は何をがんばろうかな。</li> <li>・最後までしっかりがんばろう。</li> <li>・友達の活動も手伝おう。</li> </ul>	<p>活動が終了したら教師に終わりを伝え、活動の区切りをつけることができるようにする。教師は、「やったマーク」を子どもに与え、達成感をもつことができるようにする。</p> <p>※ 進んで当番活動に取り組むことができる。</p>
	一人で	<p>3 モーニングメッセージを読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は5月31日金曜日だ。</li> <li>・今日の天気はどうなるかな。</li> <li>・大きな声で元気に読もう。</li> </ul>	<p>子どもが今日の日付などを理解できるように、一人一人が読むことができるようにする。</p>
	みんな	<p>4 大型カレンダーや時間割表で一日の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は何をしようかな。</li> <li>・来週はどんなことがあるのかな。</li> <li>・来月はどんなことがあるのかな。</li> </ul>	<p>音読に対する自信をもつことができるように、よかったところを称賛する。</p> <p>※ 正しく音読したり、内容を理解したりすることができる。</p>
	一人で	<p>5 集中タイムで各自の課題をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日記をはっきり音読するぞ。</li> <li>・算数のプリントをやってみるぞ。</li> <li>・分からないところを、先生に聞いてみよう。</li> </ul>	<p>全員が集中して学習できるように、各自の実態に合った学習内容を設定する。</p> <p>※ 各自の課題に落ち着いて取り組むことができる。</p>
	みんな	<p>6 次の学習の開始時刻を確認する。</p>	<p>次の学習開始時刻を確認できるように、模型時計を準備し確認する活動を設定する。</p> <p>※ 次の学習の準備をすることができる。</p>